



みんなが幸せな湯山小学校区へ

人権・同和教育主任 木村 温伸

今年度は6月30日に人権教育の参観日を実施する予定でしたが、感染症予防のため9月に延期しています。今後の状況によっては、さらに延期することも考えられます。

このような状況が続くと誰も不安になります。みなさんもお存じのとおり、不安は、差別の原因になります。差別は公衆衛生上の脅威です。これらは、偏見の対象となる人々の心身の健康にダメージを与えるばかりではなく、現在および将来の感染症の封じ込めを困難にします。私たち全員に、公衆衛生にきちんと取り組む責任があります。手を洗い、適切な社会的距離を維持することが大事なと同じく、多様な人々やコミュニティを受け入れることもまた、重要です。

心の感染症対策もしっかり行うことが、湯山小学校区のみなさんの幸せにつながります。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

日本赤十字社のホームページに掲載されていたものです。松山市人権啓発課のホームページにもあります。

新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！ 負のスパイラルを断ち切るために

新型コロナウイルスの3つの顔

第1の感染症



「病気」

第2の感染症



「不安」

第3の感染症



「差別」

3つ感染症の正体は何か？

第1の感染症は、「**病気そのもの**」です。感染すると重症化して肺炎を起こすことがあります。

第1の感染症
「**病気**」

第2の感染症は、「**不安と恐れ**」です。ウイルスが見えないことやワクチン等が開発されていないために強い不安や恐れを感じます。

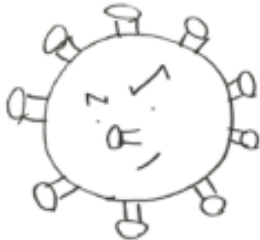
第2の感染症
「**不安**」

第3の感染症は、「**嫌悪・偏見・差別**」です。不安や恐れや人間の生き延びようとする本能を刺激し、ウイルス感染に関わる人や対象を遠ざけます。

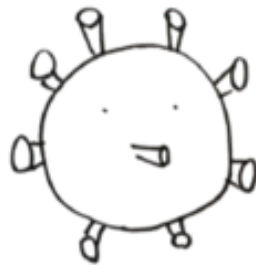
第3の感染症
「**差別**」

3つ感染症はつながっている

差別を受けるのが怖くて、熱や咳があっても受診をためらい、結果として病気の拡散を招く。

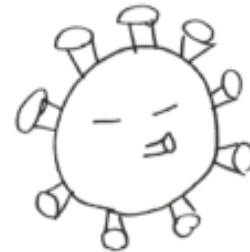


第3の感染症
「差別」



第1の感染症
「病気」

未知なウイルスでわからないことが多いために不安が生まれる。



第2の感染症
「不安」

人間の生き延びようとする本能によりウイルス感染に関わる人を遠ざける。

3つの感染症を防ぐために

第1の感染症
「防止策」

一人ひとりが衛生活動を徹底しましょう。
「手洗い」
「咳エチケット」
「人ごみを避ける」
ウイルスに立ち向かうための行動は、自分のためだけでなく周りの人のためにもなります。

第2の感染症
「防止策」

第2の感染症に振り回されないようにしましょう。不安や恐れは私たちの
「気付く力」
「聴く力」
「自分を支える力」
を弱めます。自分の安全や健康のために必要なことを見極めましょう。

第3の感染症
「防止策」

確かな情報を拡散し、差別的な言動に同調しないようにしましょう。不安を煽ることは病気に対する偏見や差別を強めます。医療従事者をはじめ、皆さんがそれぞれの場所で感染を拡大しないように頑張っています。